

其の七七

イベント
番区

ばんく

発行：静岡市番町市民活動センター 〒420-0071 静岡市葵区一番町50番地
Tel. 054-273-1212 Fax. 054-273-1213 E-mail mail@bancho-npo-center.org
URL http://www.bancho-npo-center.org
(指定管理者：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会)



番町センターからのお知らせ



10月から12月までに番町市民活動センターで行われる主催講座と行事等のお知らせです。

番町学園祭 9周年祭

日時 2018
10/28 日
10:00~15:00

今年も楽しいお祭りをみんなで作ります！
人気のマルシェ、メッセ、こども広場があります。
防災を見つめ直すための催しもたくさん！
詳しくは裏面を！



【協働主催：チーム彩】座談会ライブ♪「子育て中のすべてのママを笑顔に」

子育ての悩みや不安をみつめ直してみましよう。

【ゲスト】櫻井雅美さん（特定非営利活動法人 SmileyDream）ほか
【定員】40人（要申し込み）【参加費】100円（資料代）
【託児】希望者は500円（3~6才まで。0~2才は抱っこで参加できます。）

日時 2018
11/25 日
13:30~16:30

【主催】座談会ライブ♪「自分らしくいられる居場所とは」



日時 2018
12/15 土
13:30~16:30

安心して集える居場所とは？ 3人のゲストと共に考える。
【ゲスト】杉山元太さん（NPO法人ゆうゆう舎）八木忍さん
（NPO法人静岡市子ども食堂ネットワーク）林愛紗さん（てのひらボランティア）
【定員】40人 ◆託児希望者は申し込み時にお伝えください。



【共催：助け合いネット】「郷土の偉人に再び光を」



静岡市研屋町に生まれた長尾建吉は明治時代に初めて西洋絵画の額縁を作りました。住吉町出身の小川三知はアメリカでステンドグラスと出会い帰国後ステンドグラス作家の先駆けとして活躍しました。二人の人物を通して、地元静岡の宝を再発見しましょう！

日時 2018
11/17 土
13:30~15:30

【後援：静岡県ボランティア協会】「被災地の本当の話をしよう」

日時 2018
10/16 火
18:30~20:00

東日本大震災から7年7ヶ月— 陸前高田市市長が語るあの日とこれから—
【基調講演】戸羽 太氏（岩手県陸前高田市市長）
【主催】ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区 2R4Z
【会場】しずぎんホール「ユーフォニア」【入場無料】



主催企画

「チラシの作り方」コミュフチラシ大賞に学ぶ」を開催しました

この講座では、講師に富士市民活動センター・「コミュニティ」(通称「コミュフ」)のセンター長である今屋敷正成さんをお招きしました。他市の市民活動センターとのコラボレーション企画第一弾です。

今屋敷さんは、パンク歌手として自身のライブ活動も行っているとのこと。そうした、異色な個人的背景も、ポスターの事例説明や何気ないトークにも反映されていて、新鮮で、しかも説得力がありました。参加者たちも、楽しみながらも真面目に耳を傾けます。

「コミュフ」では毎年、独自の目線で「チラシ大賞」を表彰しています。講座の前半は、そのチラシ大賞の事例をもとに、タイトルのつけ方、文字の種類や工夫、見る人の心に訴える画像(写真やイラスト)の使い方、掲示や配架を意識した戦略的な割付などを学ぶことができました。後半は、参加者がそれぞれに持参したチラシについて、グループごとに相互評価や助言を行いました。さらに、それらの助言を踏まえて次のイベントなどのチラシの案を作る個人作業も行いました。参加者からは、「チラシが非常に奥深いものだと分かりました」「情報を、どこのどんな人にどう届けるのかをあまり気にせずにチラシを作っていたところを反省した」「(自団体のチラシに対する)他の人からの意見を聞けたのが良かった」などのご意見をいただきました。大変好評でした。「もっと魅力的なチラシを作りたい!」とお考えの方は、ぜひ番町センターまでご相談ください!!



2018
10/28
10:00-15:00

みんなであつくる

番町学園祭

9周年祭

番町センターは、一日限定の「番町学園」

* 2階では、日ごろ、番町センターを拠点に活動している団体さんによる見本市(メッセ)

* グラウンドでは、毎年、大人気の美味しいもの市場(マルシェ)とペット防災のブース

* 1階では、子どもたちが店主の子ども10円商店街や子ども広場、高校生によるコーヒー、日本茶のカフェ

毎年恒例のもののほか、今年は市民目線で防災、防犯を考える企画がたくさんあります。

なんと、体育館が避難所に!



災害が起こった時、まず、自分や身近な生命を守り、その後の暮らしを立て直していくためには、日ごろからどんなことを備えていけば良いのか。市民目線の「自助・共助」を見つめ直してみよう。

地震が起こった、という仮定で、10時から体育館を避難所にするP-HUG(番町方式避難所運営ゲーム)を開始。床に段ボールや畳を敷いて、実際に役に立ちそうな避難所をつくっていきます。11時からは、防災クイズ、かるた、紙芝居などで防災の知恵や知識を学びます。お昼ごろからは、この避難所に身体を守るための体操、心を癒す音楽、足湯などの訪問が次々とあります。

* 校舎2階のオープンスペースでは防災のための「コミュニティづくり」の講演会やワークショップ。中会議室では、防災カードゲーム、原子力防災、防災メッセなど。

番町学園全体を巡って、じっくり学び、そしてお楽しみください!

雨天でも開催。入場無料。駐車場には限りがあります。

避難所体験、防災・防犯メッセの記念品あり。ぜひご参加ください。



清水市民活動センター 12周年記念事業

市民活動FESTA2018

11月25日

会場: 清水市民活動センター(清水区港町2丁目11 ☎054-340-1010)

10:00~ 交流イベント「NPO横丁」

13:30~ 講演「NPO法ができて20年

~草の根からみた過去・現在・未来」